

鵜澤昌和写真集

往時片々

No.2



BeeBooks

鵜澤昌和写真集

往 時 片 々

No.2 異国風景

BeeBooks

No. 2 異国風物 序文

この写真集 No. 2 は、海外旅行の際のごく限られた時間に写した風景スケッチの1部であり、1957年第1回出張の折りの作品と1960年代以降の何回かの旅行の際のスナップとを分けて2部構成とした。

今から37年前の1957年4月、プロペラ機でホノルルに到着した時、ここは地上の樂園だというのが実感であった。しかし、この戦後初の海外旅行は業務渡航であり、仕事の合間の撮影であるから、撮りたいものは多くとも写真は思うにまかせない。しかもカメラやフィルム性能も今とは比較にならぬ不便なものであった。このような悪条件の中でも、自分の好きな作品がある程度出来たのは、すべての物が珍しく、大きな刺激となったからであろう。この時の作品の中から選んで第1部としたが、30年以上前の風物はいずれ変化し、消滅するものも多いと思われることと、自分の好きな作品のスライドも次第に変色してしまうことを思っただけ、あくまでも記念として残したいという願いが主要な動機である。

第2部の作品は、1960年代以降に業務であるいは休養で旅行した折々に写したものの中から自分の好みのものを少数選んだものであるが、これも記念のスケッチ以外の何物でもない。カメラも材料も、第1部の時代に比較して進歩しているのかかわらず、肝心の作品の方はむしろ退歩しているのは、撮影者の老化のせいであろうか。

第1部 米欧寸見

(1957)



1 セントパトリック寺院 (New York)



2 セントラルパーク (New York)



3 ワシントン記念塔 (Washington DC)



4 リンカーン記念堂 (Washington DC)



5 大学にて (Boston)



6 小さな教会で (New York)



7 ビッグ・ベン (London)



8 橋の上の露天商 (London)



9 モンマルトへの道 (Paris)



10 坂道 (Paris)



11 裏街 (Paris)



12 街角 (Paris)



13 古い家(1) (Paris)



14 古い家(2) (Paris)



15 古い家(3) (Paris)



16 壁 (Rome)



17 彫刻を見る人 (Rome)

第2部 旅のスケッチ (1960年代以降)



18 南の国(1) (Kona)



19 南の国(2) (Honolulu)



20 南海夕照 (Kona)



21 馬車のいる街 (New York)



22 メキシコ街 (Los Angeles)



23 古い街並 (San Francisco)



24 花屋 (San Francisco)



25 窓 (Victoria, Canada)



26 山を見る家族 (Banff)



27 山容峨々 (Banff)



28 山湖静寂(1) (Banff)



29 山湖静寂(2) (Banff)



30 氷河の湖 (Skagway, Alaska)



31 寒い海 (Glacier Bay, Alaska)



32 電車を待つ人々 (Zurich)



33 絵を持つ婦人 (Paris)



34 王宮のある街 (Copenhagen)



35 夜のポスター (Paris)

あとがき

ただ美しいと思ったものをそのまま写し取っただけで、創作性、芸術性、個性に欠けたいわゆる絵葉書写真を集めて写真集を作るとは、驚くべき恥知らずの業であると思う。それでも私の写した写真は間違いなく私自身をあらわしており、私自身の記念集には違いない。しかも、時移り人去って写した物の多くは、再び見られぬものであることもまた事実である。そうであれば、記念碑としての価値だけの写真集を作ることもしずし意味のないことではないかもしれない。

この写真集を作る決意に至ったのは、何よりも尊敬する写真の先達石橋幹一郎氏の励ましと出版社のご紹介などのお力添えがあったためである。石橋氏は常日頃「アマチュアの創作は、自画自賛、自己陶醉、自己満足を以てよしとする」と言われる。この言葉ほど、私を勇気付けてくれたものはなかった。

この写真集No.1の第1部赤い夕日の満州は、今や遙かなる歴史の彼方に消え去ったひとときの夢の記録であるが、帰らざる日々への思いは、時と共に深まるばかりである。

この写真集を作る上で助言と共に多くの実際的な作業を引き受けて頂いたのは、永年の友人榊フジエイトの佐藤俊夫氏である。また面倒な引き伸ばし作業、カラーライドの前処理等は榊伊藤スタジオの伊藤武氏のお力をお借りでき、光村印刷株の新木恒彦氏、飯島清氏には、無理なお願いを連発したにもかかわらず終始積極的な協力を頂いた。これら皆様のお力によって本集が出来上がったことを思い、心からの謝意を表わせて頂く次第である。



鷗澤昌和写真集 往事片々(No.2)

—— 異国風物 ——

発行日 —— 1995年4月8日

著者 —— 鷗 澤 昌 和
監修 —— 石 橋 幹 一 郎
制作協力 —— 伊 藤 武
印刷管理 —— 新 木 恒 彦
飯 島 清

発行所 —— 光村印刷株式会社
東京都品川区大崎1-15-9
Tel.(03)3492-1177
Fax.(03)3495-2939

印刷 —— 光村印刷株式会社

ISBN4-89615-698-6

BeeBooks

ISBN4-89615-698-6 C0372 P2000E

定価2000円(本体1942円)